

ご存じ  
でしたか?

# 『家の光』のビックリ話

『家の光』が生んだ昭和の名曲「あゝ上野駅」  
高度成長期の世相を描き、「金の卵」と呼ばれた集団就職者を中心に支持された昭和を代表する名曲「あゝ上野駅」(関口義明作詞)は、『家の光』が誌上で募集した「田園ソング」の入選作。じつは『家の光』が生みの親なのです。

「詰め将棋」の出題者はあの「ひふみん」!

将棋界のレジェンドで、「ひふみん」の愛称でお茶の間の人気者でもある加藤一二三九段。当時19歳だった1959年から60年以上の長きにわたり、現役を引退した現在も毎月『家の光』の「詰め将棋」欄の出題者を務めています。



五木寛之さんは『家の光』のライターだった!

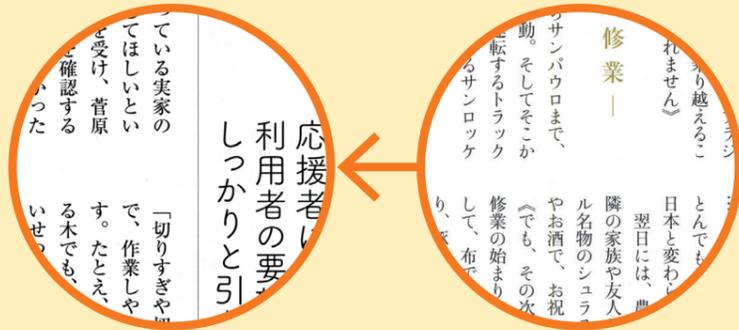
日本を代表する作家・五木寛之さんは、若いころ『家の光』のライターとして日本各地の農村を取材していました。そのときの経験や記憶が小説を書くうえでとても役に立ったと、五木さんは著書のなかで回想しています。



今の『家の光』は  
こんな雑誌です!

文字が大きく  
読みやすい!

2018年に誌面をリニューアルし、  
文字がひとまわり大きくなりました。



読むだけじゃない!  
『使える』雑誌!

見て、読んで楽しいだけでなく、個人やグループで料理や手芸などのさまざまな「記事活用」ができる雑誌です。



全国で  
「家活」  
展開中!

スマホで動画を  
楽しめる!

スマホで無料アプリ「家の光 AR」をダウンロードし、アプリを起動して誌面にかざすと、記事の関連動画や音声を楽しめます!



# 表紙で振り返る 『家の光』95年のあゆみ

2020年5月号で創刊95周年を迎えたJAグループの家庭雑誌『家の光』。  
時代により変遷してきた表紙を紹介します。  
「この表紙覚えてる!」という人もいるのではないのでしょうか?



創刊号  
1925(大正14)年の創刊号。  
大きさは現在の半分ほど、  
88ページ

25周年  
創刊25周年の  
1950(昭和25)年5月号。  
題字が縦書きに

45周年  
創刊45周年の  
1970(昭和45)年5月号。  
表紙モデルは  
読者が務めた

70周年  
創刊70周年の  
1995(平成7)年5月号。  
読者家族の表紙

90周年  
創刊90周年の  
2015(平成27)年5月号。  
2004年12月号以降は  
著名人が表紙を飾っている

